

山口県知事 村岡嗣政様
阿武町長 花田憲彦様

2020年2月14日

私どもは昨年来、防衛省のイージス・アショアの配備計画を独自に検討して参りました。その結果、昨年12月17日の「再調査の結果を踏まえた再説明」にも問題が多いという結論に至りました。説明文書と記者発表資料をお届けしますので、県及び町の担当部署にて検討いただければ幸甚です。

なお、萩市長には萩市有識者会議で検討いただきたく、別添の文書を昨日届けております。

イージス・アショア配備を考える山口の科学者

共同代表 君波和雄
外山英昭
増山博行

連絡先 日本科学者会議山口支部 増山博行
〒753-8511 山口市吉田 1677-1
山口大学教職員組合気付

別添

萩市長 藤道健二様

イージス・アショアを萩市むつみに配備するということは、演習場の単なる利用形態の変更ではありません。むつみ地区は萩ー津和野ー山口の観光ルートの真ん中に位置するとともに、ジオパークに関連する火山である、西台と東台の破壊行為でもあります。この地に固定ミサイル基地を新設することであり、萩市や阿武町のみならず隣接の山口市、山口県全体の問題であると同時に近隣の島根県にも深刻な影響を与えるでしょう。

防衛省は丁寧な説明をすると言うだけで、疑念や質問にまともに答えているようには思えません。私どもは添付の文書のように多くの疑念や質問を持っております。萩市は他に先駆けて独自の有識者会議を置いて、防衛省の報告書の検討に入られました。有識者会議では科学者や住民の疑念、質問に答えを与えるような検討が行われ、公表されることを切望いたします。

2020年2月13日

イージス・アショア配備を考える山口の科学者

共同代表 君波和雄
外山英昭
増山博行

連絡先 日本科学者会議山口支部 増山博行
〒753-8511 山口市吉田 1677-1
山口大学教職員組合気付

萩市長のルーマニア訪問にあたって

イージス・アショア配備を考える山口の科学者

近々、萩市長がルーマニアのイージス・アショア基地を見学の予定と報じられています。

昨年、山口県知事がハワイのイージス・アショア試験施設を訪問されていますが、迎撃ミサイルの一段目ブースターの落下海域に設定されていると思われる海図を知事が見られたのかは報じられていません。

萩市長のルーマニア訪問にあたっては、次の諸点に関しまして、現地司令官から情報を得られることを期待いたします。

記

- ① 通常のレーダーの探知方角、及び仰角の範囲
- ② 基地周辺に設定されている「ブースター落下区域」を示す地図
- ③ 迎撃ミサイル SM-3 の発射実績
- ④ ルーマニアの基地での発射実績がない場合は、基地司令官が海軍のイージス艦館長として勤務の経験から、ブースターの落下をどう考えているか
- ⑤ 基地司令官として、SM-3 の発射命令を下す場合に、ブースターならびに 2, 3 段目ロケットの残骸の落下についてどのようなことを配慮するのか
- ⑥ 日本の防衛省が作成した「ブースターを区域内に落下させるための措置」をどう思うか